

村政を問う 一般質問 7

ランニングコースの活用は「岳の湯」の今後の利活用は行政区立ち上げ、加入促進は村内での熊出没が多いが地域防災計画の加筆・訂正を要援護者避難支援プラン策定状況は

はろば
白馬
議会だより
97号

平成23年 7月29日発行

議長・副議長あいさし 1

議決結果 6

私の思い出 14

わたしのふりか 15



種をまく親子 (アグリスクールにて) 6月4日

議長・副議長あいさつ

就任ご挨拶

議長 下川 正剛



5月臨時議会において、再度議

長の重責を担うことになりました。責任の重さに身の引き締まる思いであります。

議会の使命は、地方公共団体の具体的な政策を最終的に決定すること。執行機関の行政運営や、事務処理及び事業の実施が適正に、しかも公平・効率的に民主的に行われているか、村民の立場になって監視することにあります。地方分権がさげられるなかで、議会の担う役割はますます重要になってきており、執行機関と議会がお互いに緊張感を保ちながら、地方自治の

振興と調和のある住民福祉、安心・安全・活力ある村づくりに努めて参りたいと思えます。白馬村を取り巻く環境は、

観光振興、命をつなぐ松本・糸魚川連絡道路の早期実現、北アルプス広域連合ごみ処理施設、少子高齢化対策、人口の減少など課題は山積しております。自由闊達な議論を通じ、合意形成に努めて参りたいと思えます。議会では議会活動の一環として、婦人会・老人クラブ・商工会・教育委員会等と懇談会を実施しており、貴重なご意見・ご提言をいただき、今後も行政側につなげていきたいと考えます。

ひらかれた議会・信頼される議会を目指して参りたいと思えますので、村民の皆様には一層のご指導をお願い申し上げます。就任の挨拶といたします。

就任ご挨拶

副議長 松沢 貞一



私は、この度の改選により副議長

に選任されました。議員として2年の経験しかなく非力ではありますが、重責を全うすべく全力を傾注する所存です。村民皆様のご指導ご鞭撻の程よろしくお願い申し上げます。さて現在の白馬村は難しい課題が山積しています。観光立村といいながら、長引く不況により経済環境は年々厳しさを増しています。また、ごみ処理場の問題を始めとして地域社会や環境問題も増加し複雑化しています。

このような状況において、村政を担う議会の役割はますます



真剣な眼差し（ミャンマー青年指導者との懇談会）7月15日

ます大きく重くなっています。下川議長を中心に11人（欠員1）の議員がそれぞれの立場を尊重する中で議論を尽くし、より良い白馬村を作るために一致団結して努力をしなければなりません。そのために議

長を補佐し、議会のスムーズな運営に全力で取り組む所存です。短期と長期両方の視点から将来を見据え、5年後10年後あるいは50年後の白馬村を、みんなで考え創っていきましょう。

委員会構成表

平成23年 5月 9日の白馬村議会第1回臨時会において、議会構成が変わりました。

議 長	下 川 正 剛
副 議 長	松 沢 貞 一

■新・議会構成 平成23年 5月 9日から

■任 期 平成25年 5月 4日

◎委員長 ○副委員長

委 員 会 等 の 名 称		定数等	委 員 等 の 氏 名		
常任委員会	総務社会委員会	6	◎太田 伸子 高橋 賢一	○太田 修 小林 英雄	横田 孝穂 松沢 貞一
	産業経済委員会	6	◎田中 榮一 太谷 正治	○篠崎久美子 下川 正剛	柏原 良章 (欠員1名)
議会運営委員会		5	◎高橋 賢一 田中 榮一	○太谷 正治 松沢 貞一	太田 伸子
特別委員会	議会報調査編集特別委員会	7	◎太田 修 太田 伸子 松沢 貞一	○柏原 良章 田中 榮一	篠崎久美子 小林 英雄
	ごみ処理特別委員会	11	◎松沢 貞一 ○太田 伸子 ※議長を除く議員全員が委員		
監 査 委 員		1	横田 孝穂		
北アルプス広域連合議会議員		3	下川 正剛	松沢 貞一	太田 伸子
白馬山麓環境施設組合議会議員		5	下川 正剛 田中 榮一	松沢 貞一 篠崎久美子	太田 伸子
消 防 委 員 会 委 員		2	太田 修	田中 榮一	
表 彰 審 議 会 委 員		3	太田 伸子	高橋 賢一	太谷 正治
国民健康保険運営協議会委員		3	横田 孝穂	篠崎久美子	松沢 貞一
環 境 審 議 会 委 員 都 市 計 画 審 議 会 委 員		4	下川 正剛 田中 榮一	松沢 貞一	太田 伸子
公 民 館 運 営 審 議 会 委 員		1	小林 英雄		
伝統的建造物群保存地区保存審議会委員		1	下川 正剛		
学校給食共同調理場運営委員会委員		1	太田 伸子		
図 書 館 協 議 会 委 員		1	小林 英雄		
(社)白馬村社会福祉協議会理事		2	太田 伸子	太田 修	
(社)白馬村社会福祉協議会評議員		5	下川 正剛 高橋 賢一	松沢 貞一 小林 英雄	横田 孝穂
(財)白馬村振興公社理事		3	太田 伸子	田中 榮一	篠崎久美子
(財)白馬村振興公社評議員		5	下川 正剛 太谷 正治	松沢 貞一 柏原 良章	高橋 賢一
はくばSPF豚畜産環境対策協議会委員		2	横田 孝穂	高橋 賢一	

平成23年第2回定例会

会期 6月7日から6月16日まで

このような審議がありました

本会議での質疑

●平成22年度一般会計補正予算(第7号)

問 (篠崎久美子)普通地方交付税が1億円あまりの増額補正になりましたが、年度末まで補正されず財政運営ができた理由を伺います。

総務課長 国の経済対策交付金や財政対策債等を発行しましたので財政確保ができて、支出予算も大型事業がなかったため交付税を留保しました。

問 (篠崎久美子)オストメイト(人工肛門装着者)対応型トイレの整備工事が減額になっていますが、

住民福祉課長 公衆便所や庁舎への設置は維持管理上問題があるため、ふれあいセンターの1か所になり、さらに予定額より安く契約したためです。

問 (太田修)財政調整基金に1億3千万円、土地開発基金に2000万円、福祉基金に1億円、義務教育施設整備基金に1億円、合計3億5000万円を積み立てましたが、事業目的と計画の概

要と、活性化にむけた検討はされたのでしょうか。

総務課長 財政調整基金は財政が逼迫した際に支出する

もの、土地開発基金や福祉基金、義務教育基金は特定目的基金で、将来予想される大型

事業等に対する支出に備えるものです。

大震災の影響で、この先の国の経済対策は望めないため、経済活性化に向けた取り組みは、長期財政計画を見据え、身の丈に合った施策を考えていくことが賢明と考えます。

議会運営委員会

●陳情第5号

白馬村政治倫理条例及び白馬村政治倫理条例施行規則の改正を要請する陳情

1、対象は村長と住民を別に扱う必要がある。

2、兼業に関し、村からの補助金、負担金を受ける団体の代表や役員に就くことの原則禁止について。

3、報酬を得ていない場合でも兼業の報告を義務化する必要について。

4、表現の方法を再考し、複雑な表現や非能率的な状況を修正し、書き直すことによって、他の条項も修正する必要が生ずることについて。

5、提出を義務付けている書類の閲覧をすることができない規定の明文化について。

6、条例の義務違反について、住民からの告発を審議する委員会の組織化について。

意見

*現行条例には複雑な表現が多く、非能率的な状況について修正する必要がある。それによって他の条項も修正する必要が生ずるという面は理解できる。

*閲覧については「何人も」から「村民」と明確にした方がよいのではないか。

▽委員長を除く委員全員の賛成により「一部採択」とすべきものと決定。



ごみ処理広域化説明会 (7月15日)

総務社会委員会

グリーンスポーツの森ランニングコース 完成

●平成23年度白馬村一般会計補正予算(第1号)所管事項

歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ7345万5千円を追加、総額をそれぞれ43億

9145万5千円とする。

総務課

消防費162万8千円の増額。3月末に消防団退職者の人数確定による。

防災費158万9千円の増額。3月11日に起きた震災被災地への職員派遣と支援の費用。堀之内地区の防災無線の電波状況の変更によるアンテナの修繕費、災害時夜間活動のためのバルーン型投光機の購入費。

教育委員会・教育課

教育費121万3千円の増額。県の地域発元気づくり事業補助金85万円を利用した白馬グリーンスポーツの森ランニングコースの整備など。

スポーツ事業振興費50万の増額。同ランニングコース完成記録会の体協の運営負担金。社会教育費363万1千円の増額。人事異動による職員の人件費の補正。

公民館費144万円の減額。人事異動により職員が公民館長になったため。

住民福祉課

社会福祉総務費352万4千円の増額。白馬村社会福祉協議会補助金の増額。保健予防費418万6千円の減額。

子宮頸がん等ワクチン接種事業で集団接種の要望が多く、医師会の協力により集団接種が可能になったため、接種委託料の医師報酬の減額。

問

子宮頸がん等ワクチンとあるが他のワクチンと接種対象年齢は。

答

子宮頸がんは中学1年から高校1年で、ヒブワクチンと小児肺炎球菌は0歳児から。

▽委員長を除く委員全員の賛成により可決すべきものと決定。

●白馬村税条例の一部を改正する条例について

東日本大震災に係る所得税法の改正により、東日本大震災に係る雑損控除額等の特例と住宅借入金等特別税控除の適用期間の特例の関係の改正です。

▽委員長を除く委員全員の賛成により可決すべきものと決定。

●請願第3号 郵政改革法案の速やかな成立を求める請願書について

郵政3事業の民営化・分社化されたことによりサービスの低下が指摘され、特に公共機関の利便性など、高齢者に

とって深刻な問題である。郵政3事業のサービスの一体化するなど経営形態の見直しを求める。これ以上、同法案の成立を先送りすることは地方の郵便局を維持していく上で得策ではなく郵便局をめぐる地域の実情を踏まえ利用者にとってより良いサービスが提供されるよう今季通常国会において「郵政改革法案」を十分審議し、速やかに成立させるよう強く要望します。

意見
*日通との統合失敗により地方の営業所が廃止される事態が起こっている。
*事業が分離されたことによりいろいろな弊害が起きている。委託業務が受けられるようになれば円滑な運営ができるようになるのではないか。
▽委員長を除く委員全員の賛成により可決すべきものと決定。



白馬南小学校音楽会 (6月25日)

産業経済委員会

リフォーム補助事業 1000万円

●平成23年度一般会計補正予算(第1号)所管事項

歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ7345万5千円を追加し、総額を43億9145万5千円とする。

観光農政課

農地残雪対策として処理委託料104万3千円、消雪剤補助金4万7千円、小水力等農業水利施設利活用支援事業400万円、有害鳥獣被害対策事業18万6千円、「岳の湯」休業に伴う村管理経費115万4千円、首都圏誘客事業として、旅費・パンフレット制作負担金21万7千円、住宅リフォーム補助事業1000万円をそれぞれ増額。

建設水道課

道路新設改良費5276万7千円を増額、内訳は村道改良国庫補助事業1176万7千円、道路改良起債事業4100万円で、有利な起債を充当。

問 農地残雪対策消雪剤の購入は50%の補助だが、100%出すことはできないか。

答 近隣の町村の状況を勘案し検討します。

問 小水力等農業水利施設活用支援事業の詳細は、実施要綱は平成23年4月1日に公表。本事業は発電機設置の可能性の調査で発電量などは未知数です。

問 指定管理者契約から「岳の湯」が抜けたということか。

答 振興公社からは除外されて村の管理になります。

問 五竜山麓線の完成見込みと残りの距離は。

答 今年度交付税の補正は見込めないが、有利な起債、地方道路等整備事業債



農業水利施設

で24年度完成を目指しています。今年度工事では280メートル、残りは350メートルです。

▽委員長を除く委員全員の賛成により可決すべきものと決定。

6千円とする。

歳入に分担金70万円、繰越金130万円を増額。歳出は、共同排水設備設置等補助金200万円の増額。

▽委員長を除く委員全員の賛成により可決すべきものと決定。

●平成23年度白馬村下水道事業特別会計補正予算(第1号)

歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ200万円を追加し、総額を5億5970万

●請願第2号 公契約条例制定についての請願

建設業の厳しい情勢の中で、技術技能を身につけた熟練工であっても評価されにくく

なっている。特に公共工事設計労務単価の10年間の推移を見ると、職種間の格差が無くなり、見習工も熟練工も同等に取り扱われているといわざるを得ない。
建設業で働く労働者の仕事と生活の改善をするために、入札制度を一部改正し、公契約条例(公共工事における賃金等確保条例)を制定するよう、要請する。

意見

*村は国、県の設定労務単価で設計見積りしているが、落札率が80%近くになっている現状から、村として金額を業者に指定することや、条例制定することは、難しいのではないか。

*労働者は保障されるが、小さな事業主は弱体化するのではないか。
*継続審査として深く議論したい。

▽委員長を除く委員の賛成多数により趣旨採択すべきものと決定。

● 6 月 定 例 会 議 決 結 果 ●

件 名	議決結果
平成22年度白馬村一般会計繰越明許費繰越計算書	報告事項
白馬村国民健康保険条例の一部を改正する条例の専決処分報告	承認(賛成全員)
白馬村国民健康保険税条例の一部を改正する条例の専決処分報告	
平成22年度白馬村一般会計補正予算(第7号)の専決処分報告	
平成22年度白馬村国民健康保険事業勘定特別会計補正予算(第3号)の専決処分報告	
平成22年度白馬村後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)の専決処分報告	
平成22年度白馬村老人保健医療特別会計補正予算(第2号)の専決処分報告	
平成22年度白馬村下水道事業特別会計補正予算(第5号)の専決処分報告	
白馬村税条例の一部を改正する条例	可決(賛成全員)
平成23年度白馬村一般会計補正予算(第1号)	
平成23年度白馬村下水道事業特別会計補正予算(第1号)	
白馬村監査委員の選任	同意(賛成全員)
白馬村農業委員会委員の推薦	可決(賛成全員)
白馬村農業委員会委員の推薦	
白馬村農業委員会委員の推薦	
郵政改革法案の速やかな成立を求める意見書	

● 陳 情 等 文 書 ●

提出者	住所	要 旨	付託委員会	審査結果
陳情第5号	白馬村	白馬村政治倫理条例および白馬村政治倫理条例施行規則の改正を要請する陳情	議会運営	一部採択 (賛成全員)
請願第2号	大町市	公契約条例制定についての請願	産業経済	趣旨採択 (反対: 篠崎)
請願第3号	白馬村	郵政改革法案の速やかな成立を求める請願	総務社会	採択 (賛成全員)

◎白馬村農業委員会 議会推薦 3名

内川多計子さん(大 出)
松沢 正猛さん(白馬町)
佐藤 久子さん(飯 田)

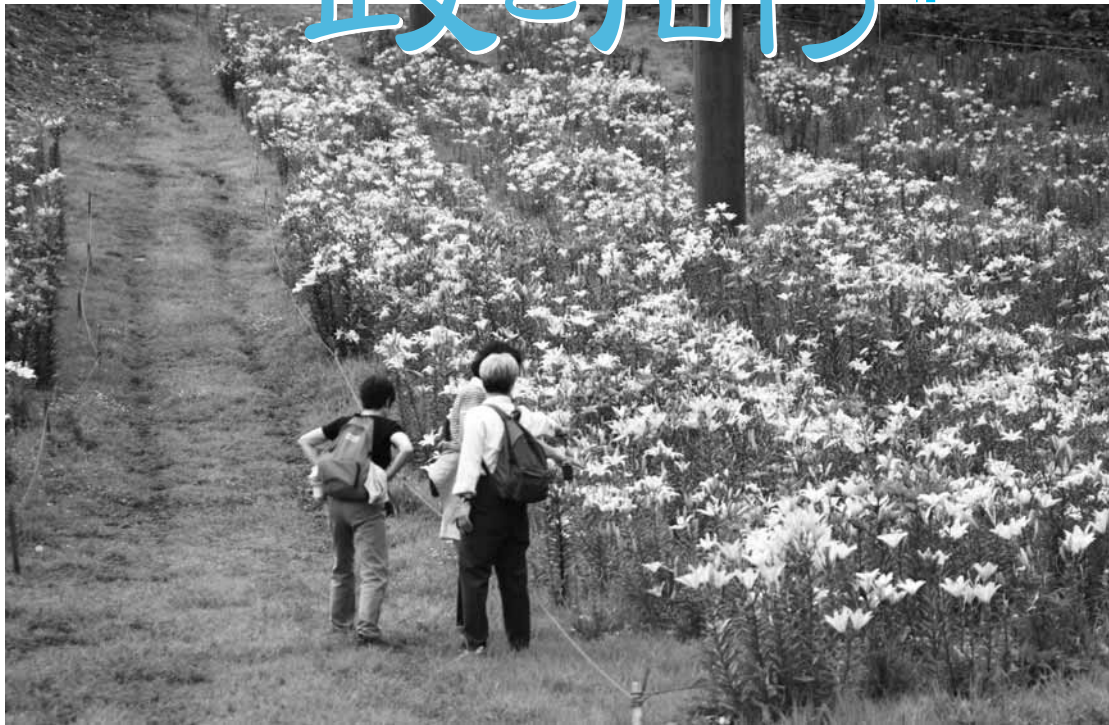
◎白馬村監査委員

小林 勉さん(飯 森)

一般質問 (紙面の都合上、質問者本人が要約し掲載しています)

村政を問う

活力ある
村づくりをめざして



香り高く (岩岳ゆり園) 7月22日



貞逸祭記念登山 (5月28日)

施設問題

問 ランニングコースの活用は

答 スポーツ観光推進会議を設立し対応



田中 榮一 議員

【ランニングコース
整備について】

問 グリーンスポーツを基
点として、4 kmコース
が整備され誘客につながる
コースとして期待されるが。

村長 観光農政課に「スポー
ツ観光推進会議」を設
立し、市民ランナーや、学生
実業団の陸上合宿誘致を目指
します。「きこりの道の再整
備」にも着手しており、飯田
地区では、「東山の散策路整
備」を行う計画と聞いていま
す。行政と地域がこうした整
備を行いながら、ウォーキン
グやマウンテンバイクなどの

幅広い層の誘客に努めます。

問 村民の生涯スポーツの
場としての活用は。

長 地域総合型スポーツク
ラブへの支援の活用と、
ランニングは気軽にできるス
ポーツなので、日ごろ運動不
足の方々に健康、体力づくり
に活用していただくようPR
していきます。

問 【地域防災計画について】
東日本大震災の教訓と
して、防災訓練の重要
性を取り上げられているが、
実施している訓練の実態は。

村長 大規模な地震の発生を
想定した地震総合防災
訓練、建物火災を想定した消
防総合訓練、土砂災害を想定
した防災訓練を実施していま
す。大規模災害が発生した場
合、住民一人一人の応急対応
に関する知識や体験が被害の
軽減に最も貢献するものと考

え、住民相互が行う応急対応
を主眼に、初期消火や救命、
救護に関する訓練を実施して
います。

問 白馬村に大雨警報が発
令された場合の対応は。

総務課長 職員の災害時初動マ
ニュアルに沿って、総
務課、建設課、観光農政課を
中心に、建設事務所、地方事
務所と連絡を取り合いながら
対応しています。

問 村長が考える災害に強
い村とは。

村長 河川の氾濫などに備え
たハードな設備と同様
に、住民が自らの判断で避難
することが何よりも大事です。
災害時に人が亡くならない村
が、災害に強い村と考えます。
そのためには意識改革、情報
発信による村民理解、自立の
精神など、お互いに認識しあ
うことが災害に強い村づくり
に繋がると考えます。

問 【社会福祉について】
高齢者福祉相談業務は
大切な仕事だが、その
相談内容は、
3名の専門職を配置し、
通常業務日のほか、休
日及び夜間にも電話対応しな
がら、主に地域包括支援セン
ターで業務を行っています。
相談業務の平成22年度実績数
値は、延べ2304件、新規
相談人数が95人となっていま
す。



下河原橋から見たランニングコース（7月22日）

福祉問題

問「岳の湯」の今後の利活用は

答委員会を設け、12月に結論を



太田 修 議員

【岳の湯の利活用について】

契約期間中での休館理由は。

村長 公社との指定管理者契約は、平成24年3月31日です。

施設の老朽化に伴い、改修費、設備費、水道光熱費などが多額となり、財務分析の結果、入浴施設としての経営が困難と判断し、やむを得ず休業しました。

問 休養施設への考えは。

村長 心身の疲労やストレスなどの回復が考えられますが、休養施設は「岳の湯」

だけでなく、村内には温泉、公園、スキー場、登山やトレックキングなどの施設が存在しています。

問 利用者への対応は。

村長 入浴料の一部助成は廃止し、それに代わる制度について観光局の温泉部会と検討を進めています。



訓練に励む消防団員（消防ポンプ操法大会）6月26日

【防災計画の見直しと改善について】

問 独自の避難情報・発令及び防災計画の修正は。

村長 平成23年1月に土砂災害と洪水の避難情報に係わる発令基準を定め、迅速かつ確実な伝達を目的に、準備情報、勧告、指示の基準を明確にしています。しかし、今回の大震災で国や県も防災計画の修正が予想され、整合性を図る必要に応じ修正します。

問 避難所看板の設置計画は。

村長 平成23年度より村主体で順次設置します。

問 相互扶助の希薄化への懸念は。

村長 災害のみならず福祉面などでも今後大きな懸念材料であり、自主防災組織を通じ、区加入の呼び掛けに協力をしていきます。

問 広域災害医療システムは。

村長 村と大北医師会で「災害時の医療救護活動に関する協定」を締結しており、災害発生時には対策本部に救

護班を編成し、防災計画に基づいて救助・救急・医療活動に対応します。

【観光施策について】

問 観光施策の立案は。

村長 行政で観光振興計画を策定し、状況を加味しプランに沿った予算付けをします。

問 観光局未加入者への対応は。

村長 行政の進むべき方向と施策を示し、行政と局の担う役割を明確にすることで加入につなげたいと思います。

問 県観光部と白馬・小谷の意見交換会は。

村長 県は、国際観光推進室やスノーリゾート担当職員を配置し、「インバウンドや県スキー100周年を迎え、次の100年につなげるために市町村や観光関係者と連携して盛り上げたい。震災後の経済活動を積極的に進めるため、『がんばろう日本』『信州元気宣言』を行い、夏場の長期休暇を利用した滞在型観光キャンペーンに取り組み」との説明でした。

住民問題

問 行政区立ち上げ、加入促進は

答 震災直後でもあり、再度話し合いを



太田 伸子 議員

【地域コミュニティについて】

問 緊急避難場所には行政未加入者は収容できるのか。

村長 未加入者であっても緊急の場合関係なく収容します。収容規模については、全員が避難した場合に賄えるかは非常に疑問符が付きますが、今後考えていかなければならないと思っています。

問 区加入者には普段の義務も発生しているが、災害など緊急時には助け合いの輪がひろがる。今の平穏な時期に区加入、区の立ち上げ

を推進していただきたいが。

村長 一部地域の皆さんと話し合いを進めてきています。地域連帯感の希薄化により、なかなか住民合意が得られず、進んでおりません。

しかし、震災の直後でもあり、再度話し合いの場を設け、前進できるような考えています。

【緊急災害対策について】

問 被災された現地への支援対策本部の系統は。

村長 様々な機関・団体の皆様に賛同いただき白馬村避難者連絡会を組織しました。被災地への支援は被災地支援本部が、避難者への支援は支援連絡会が中心となって推進していきます。

問 対策本部に申し出た人が各組織を廻るのではなく、受入れが一本化されるような組織系統にならないか。

村長 国への補助を受け8億円近い投資をして出来た設備であり、自主放送を通じて、地域をご理解いただくともに、行政の姿勢を情報発信していく手段としてカメラと声

と映像による告知方法が大事という公約が実現しました。全戸加入に向けて努力を続けていくべきと考えています。

総務課長 現在の組織及び事務分担では個人の方に回っていただくようになっていますが、混乱を生じさせないような方向で検討していきます。

【ケーブルテレビ白馬について】

問 7月にアナログ放送が終了するが、高齢者には周知されているか。

村長 停波に向けた調査は行っていますが、民生委員を通じて実態の把握をお願いしています。

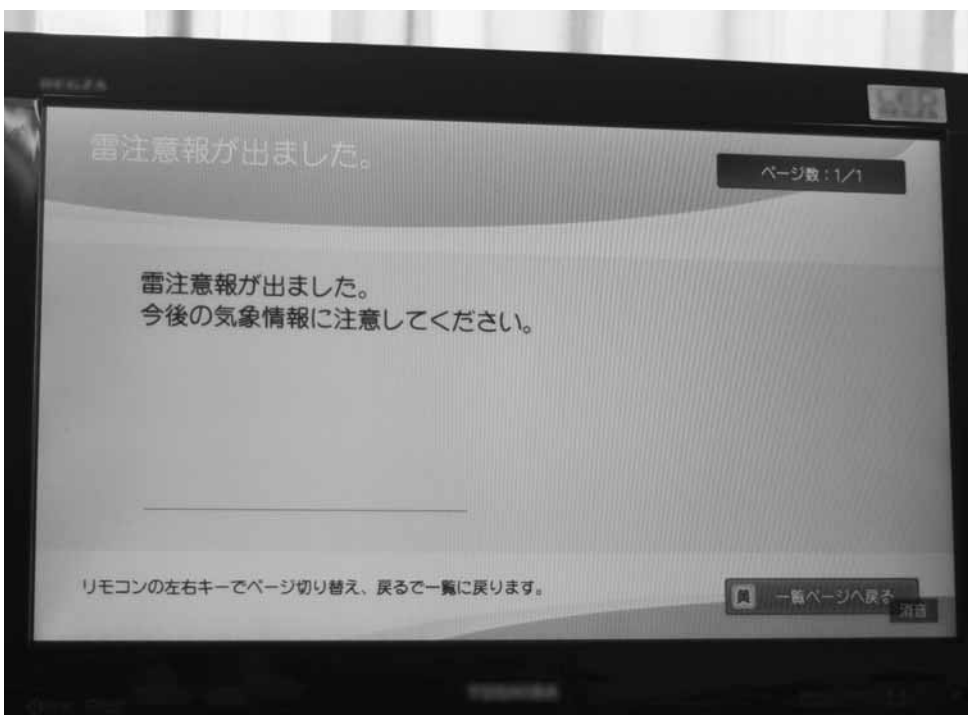
問 村営のケーブルテレビ事業であるので、積極的な加入推進の努力が必要なのは。

村長 国の補助を受け8億円近い投資をして出来た設備であり、自主放送を通じて、地域をご理解いただくともに、行政の姿勢を情報発信していく手段としてカメラと声

と映像による告知方法が大事という公約が実現しました。全戸加入に向けて努力を続けていくべきと考えています。

問 ユーテレ白馬のデータ放送について、各担当課のデータの切り替わりが来ていないのでは。

村長 学校関係、観光局関係などそれぞれの情報発信できる場所を一堂に集めながら、その徹底を図っていくよう庁内に指示をしたところであり、是正に向けて取り組みをしていきます。



気象情報を伝えるユーテレ白馬の画面

鳥獣問題

問 村内での熊出没が多いが

答 住民の生命と安全を守りたい



柏原 良章 議員

【有害鳥獣被害対策について】

特定猟具禁止区域解除の今後対応は。

特定猟具禁止区域は銃猟使用禁止区域で村内

3カ所ですが、東山地区では猪や鹿等の被害が増加しているため、県等との協議をして順次除外していきます。

春熊猟禁止期間が長く被害が多くなったが。

平成18年と昨年は熊の目撃、被害が急増しました。対策として、個体数調整をしています。銃器による威嚇が人里への出没防止になるので、再開を検討して

きます。

猟友会会員の維持や新取得者への補助は。有害鳥獣被害防止事業

補助金交付要綱の一部

を改正し、銃砲所持免許の取得費用と狩猟免許更新費用に補助金を交付し、会員確保を図るため、当分の間継続します。



オリに入った熊

【佐野坂村道の融雪施設不使用について】

当道路はスリップ事故が多く村としての対応は。

無散水施設ですが、稼働に係る経費は年間500万円と多額でありますので、平成16年から使用中止とし、除雪作業と融雪剤散布を

多くし事故対策としています。重大事故の場合、村に補償を求められたら。

村としては、道路管理上の事故に対応するため、全国町村会総合賠償補償

保険に加入しています。事故対策としての自動融雪剤散布機の設置は。

無散水施設設置延長が360mあり、設置すれば台数が必要となるため、散布で対応していきます。

国道無散水融雪施設と同様な施設にしては。

稼働システムが異なり施設変更工事が必要のため、出来る限り安価な対応策を今後考えます。

稼働システムが異なり施設変更工事が必要のため、出来る限り安価な対応策を今後考えます。

稼働システムが異なり施設変更工事が必要のため、出来る限り安価な対応策を今後考えます。

稼働システムが異なり施設変更工事が必要のため、出来る限り安価な対応策を今後考えます。

稼働システムが異なり施設変更工事が必要のため、出来る限り安価な対応策を今後考えます。

稼働システムが異なり施設変更工事が必要のため、出来る限り安価な対応策を今後考えます。

【奈良井地域整備について】

地区懇談会や整備検討委員会です。1年前から検討をし、検討委員会からは有効活用と整備計画の報告が提出されているが。

当地は圃場整備が実施された場所ですが耕作に不便なため、有効利用について委員会に検討を要請し、委員長より報告を受けました。

検討委員会報告を尊重し一刻も早く有効利用を図る予定です。事業導入にあたり県を通じて国の採択要件を検討していただいています。

【村長への提言提出について】

提言箱の設置場所が、現在地では利用しにくい人が多くと聞か。

現在、庁舎村民ホールに設置し昨年度20件ほどの提言がありました。多くの提言を提出していただきいたので設置場所は前向きに検討をしていきます。

現在、庁舎村民ホールに設置し昨年度20件ほどの提言がありました。多くの提言を提出していただきいたので設置場所は前向きに検討をしていきます。

現在、庁舎村民ホールに設置し昨年度20件ほどの提言がありました。多くの提言を提出していただきいたので設置場所は前向きに検討をしていきます。

現在、庁舎村民ホールに設置し昨年度20件ほどの提言がありました。多くの提言を提出していただきいたので設置場所は前向きに検討をしていきます。

現在、庁舎村民ホールに設置し昨年度20件ほどの提言がありました。多くの提言を提出していただきいたので設置場所は前向きに検討をしていきます。

現在、庁舎村民ホールに設置し昨年度20件ほどの提言がありました。多くの提言を提出していただきいたので設置場所は前向きに検討をしていきます。

現在、庁舎村民ホールに設置し昨年度20件ほどの提言がありました。多くの提言を提出していただきいたので設置場所は前向きに検討をしていきます。

防災問題

問 地域防災計画の加筆・訂正を

答 修正を図り、防災の広報に努める



小林 英雄 議員

【地震対策について】

問

平成14年の長野県地震対策基礎調査報告書では、糸魚川―静岡構造線北部

地震が起きた場合、村では最大で震度7の大地震となることとが予測されているが、白馬村地域防災計画は10年以上前に策定されたものであり、最新の情報により加筆・訂正すべきではないか。

村長

防災計画は平成17年以降、修正しておりません。今回の大震災を契機に国・県の防災計画修正が予想されますが、これらとの整合性を図るべく修正したいと思えます。

問

大地震では建物の耐震性が重要。無料耐震診断制度と、それに基づく耐震改修事業の利用状況は。また、避難所は耐震基準を満たしているか。

村長

耐震診断・耐震改修事業ですが、平成16年度から木造住宅を対象にして行っています。耐震診断は無料、耐震改修は60万円を限度として工事費の2分の1を補助しています。対象住宅は、昭和56年5月31日以前に、旧耐震基準の下で建築された住宅に限られます。

これまでに87棟の住宅が耐震診断を受けており、「倒壊する可能性がある」「および「倒壊する可能性が高い」と判定された住宅は、それぞれ10棟と37棟でした。

避難所の耐震診断は平成19年度から行っており、対象施設13棟のうち12棟で完了し、

問

唯一鉄筋コンクリート造である八方文化会館が「倒壊する危険性が低い」と判定された以外は、「倒壊する可能性が高い」または「倒壊する可能性がある」との判定でした。本年度で耐震診断は完了します。

村長

長野県大規模災害ラジオ放送協議会発行の「防災ハンドブック」を参考にし、村の独自情報を盛り込んだ掲示物を作成し、防災の日配布することを提案。また、福祉避難所の具体化を要望するが、

村長

防災に関する広報の要望ですが、平成21年に災害時地区別避難所一覧を全戸配布しております。また、同時期に広報はくばで「災害に備える」と題して防災特集を組んでいます。これらをベースに、長野県大規模災害ラジオ放送協議会発行の「防災ハンドブック」も参考にし

ながら、各家庭で掲示いただくような印刷物の作成・配布を検討します。

福祉避難所ですが、福祉避難所の早期指定をめざします。

現在のところ、福祉避難所として考えられるのは、ふれあいセンターくらいしかありません。



増水した平川（白馬オリンピック大橋）6月26日

災害問題

問 要援護者避難支援プラン策定状況は
答 4地区で作成の支援マップによる



篠崎 久美子 議員

【避難支援プランについて】

問 緊急避難時に支援を要する人への、避難支援プランの策定及び周知状況は。

村長 個別計画と関連する地域支え合いマップは4地区で作成済み、2地区で作成中です。周知は全体計画策定当初時に民生児童委員会にて説明し、ホームページで公開しています。

問 要援護者登録制度への新規登録、変更は。

村長 新規登録は申請方式、登録事項の変更は届出方式ですが、実際は支援マップ作成時に地区役員が訪問し、

同意を得て新規登録しているのが大半で、関係者から情報があれば変更します。

問 避難に時間を要する人、視覚および聴覚障がい

者、外国人への対策は。視覚及び聴覚障がい者への情報伝達は、防災行政無線、ユーテレ白馬を活用し、外国人への母国語での



撤去予定の白馬中学校プール

情報提供の具体的対策はしていません。最終手段は要援護者宅への直接伝達に限ると考えます。

問 村内介護事業者との連携状況や方法の確認は。

支援者数の充足状況は。

住民福祉課長 連携確認と方法は今後の課題です。支援者の必要数の把握はしていません。

【中学校グラウンドについて】

問 部活動時のグラウンドの広さの状況は。

村長 教育施設基準は達成している面積です。

問 使用していないプール撤去の考えは。教育基金の現在高は。

村長 財政面が許せば来年度以降、残土処理等の処理の確保ができれば今年度中にも着手したいと思えます。基金現在高は約1億3千万円です。

【観光について】

問 第8期観光局事業計画における村の重点観光

施策、局との連携方法は。局

のあり方の検討は。

村長 重点施策は冬期観光、山岳観光、インバウンド事業、東日本震災対策事業です。局と村との業務区分けは大事で今後の検討課題です。観光推進組織体制を改めて検討したいと思えます。

問 観光への住民意見導入の機会やボランティア参加は。

村長 今後の事業に大勢の参加を計画していきたいと思えます。

問 ふるさと白馬応援し隊の状況は。

村長 登録者は33名で、年4回会報を発行し、会員専用のサイトを開設して意見交換の場としています。運営自体の研究はさらに必要と思えます。

問 人材育成の方法としての現在の局派遣のあり方は。局長派遣の任期は。

村長 平成24年度に検討したいと思えます。局長派遣は2年ほどを目安としてい

ます。

私の思い出



八方口 宮島 勝

白馬の木彫りの生い立ち

「白馬の木彫り」を語る前に、その原点である上田、小県地方で始まった「農民美術」についてお話しします。

大正時代初期に、自由画教育の先駆者で画家でもあった故山本鼎画伯が、ロシアや北欧を旅した折、その地方で作られていた木彫りの民芸品や工芸品に触れ、気候風土の似かよっている信州で、農閑期の副業として成立できないかを考えられ、現在の上田市大屋に、中央で活躍されていた作家の方々の力を結集して「農民美術研究所」を設立し、近隣の町や村の農家の人はもとより一般の人たちも研究生とし

て受け入れ、風俗人形などの民芸品等の講習が始まったのが源です。

昨年、設立九十周年を迎え祝賀の会が催され、関係者が多数集まり懐かしい時を送りました。白馬では旧北城村当時の昭和七年頃、農民美術の第一人者であった初代中村實氏(上田市)が北城村に來られ、村人を集め講習会を開いたとご本人から伺った事があります。当時講習を受けられた方々はすでに亡くなられ、その方々の作品が個々の家に残っているのではないかと思います。(もし心当たりがあれば是非ご連絡下さい。)

その活動も、戦争が激しくなり、徐々に衰退していきました。その後、昭和三十年に、長野県特産振興課により農民美術を主体とした「職業訓練技能養成所」が、上田市に設置され、以前その技術を修得された先生方の元へ全県から訓練生が集められ、指導が始ま

りました。

白馬からも一期生として丸山譲氏、二期生として峯村徹氏と私が、美術教師の故石沢清先生の勤めもありこの道に入りました。その後、郷津一美、松沢登美雄、太谷定光、高橋本栄の各氏が続ぎ、各々五十余年以上も木彫りのプロとして活躍しております。また、後継者として丸山和之氏も、頑張っています。それぞれが個性的な仕事をしており全国的に「白馬の木彫り」として知られてきています。全県に広がっていた農民美術も、本拠地の上田地方を除けば大町、白馬に多数の後継者が残っているのみです。一方私どもの指導で、趣味として木彫りをしている村の人たちも、成人学級や同好会として三十年以上も続き、今年も文化祭を指して頑張っています。

白馬三山の雄大な景観や自然豊かな土地柄に惹かれ、村を訪れる人が多いと思います。が、我々の仕事が観光振興の一役を担っていくことが出来れば幸いです。

平成23年 第2回 白馬村議会臨時会

平成23年7月15日 開会

本会議での質疑

※一般会計補正予算の議案 1件

住宅リフォーム資金補助金

1200万円増額

●一般会計補正予算

問(太田 修) リフォーム資金補助金に関する検討内容は、

観光農政課長 経済の活性化を目的とした施策で一昨年度はプレミアム商品券を実施し、本年度は住宅リフォーム補助金を中心に実施しました。申請者が予想を大きく超え、工事内容からも屋根・外壁塗装などが多く、環境色彩計画を交付要項に規定することで景観の向上と、村内経済の活性化を進めます。

問(篠崎久美子) 補正額の算出根拠は。

観光農政課長 厳しい財政事情の中で許す範囲での対応の結果1200万円を増額補正し、うち200万円は申請後の変更が想定されるための予算対応です。

○第2回臨時会 議決結果○

件名	議決結果
平成23年度白馬村一般会計補正予算(第2号)	可決(賛成全員)

●ミャンマー青年指導者訪日団 臨時会傍聴

ミャンマーの若手政党関係者男女20名の皆さんが、日本の地方行政や議会についての理解を深めるため臨時会を傍聴し、終了後、議会との懇談会がもたれました。同訪問団長を務めた力チン州議会議員のチャンタン・キンさんは「議会傍聴は貴重な体験となりました。ミャンマーへの理解と友好が深まることを願います。」と話していました。

夢、私たちに。 わたしのひとこと



明るく楽しく!

飯森 長田 るり子

私は、白馬生活17年目で子ども達も豊かな自然の中で元気に育ってくれています。10年に渡り、続けている子育て支援や地域支援のボランティア活動と、今年度は大北PTA連合会母親委員会の委員長をやらせて頂き、大北地域の小中19校の素敵なメンバーと共に楽しんで活動しています。しかし去年は夏に受けた集団健診で異常がみつき、医師から癌告知を受けました。その年末に手術を受け、今は薬を服用し経過観察中です。その時は「何で私が…」と思いましたが、ストレス社会(特にパワハラは辛い。)で2~3人に1人が癌の時代とのこと。

今回の事で健診の重要性、命の貴さに気づきました。励ましてくださった友人、知人、関わってくださった全ての方々、そして支えてくれた家族に心から感謝申し上げます。これからも悔いのない様に明るく楽しく精一杯生きていきたいと思っています。



「野桜会」の輪

野平 山岸 速人

私の住んでいる野平地区は白馬連峰を見渡せる絶好な場所に位置しており、19軒の小さな集落の人々が素晴らしい景観のもとで互いに協力し合っています。

区内で結成された「野桜会」の活動は30年以上前から続いております。その名の通り、地域内に桜を植林する事から始まりました。10年前には野平から鬼無里に向かう柄山峠を整備し善光寺に向かう古道を復活させ、現在では年2回の草刈や間伐を続けております。また、昨年9月に「キザキノナタネ」を50aもの休耕畑にまいた結果、今年の6月には黄色い花が咲き、より多くの写真愛好家等が訪れるようになりました。更に同月、有志が青鬼・野平間の旧郵便街道を整備・復活させました。

一見地味な活動ではありますが、30年前から続くこれらの取り組みは白馬の観光に充分寄与していると私たちは自負しています。今後このような活動を通して、人と人との輪を広げていきたいと考えております。



東日本大震災 緊急消防援助隊

深空 滝沢 安敏

3月11日14時46分、東北地方太平洋沖地震発生。私は長野県緊急消防援助隊一次派遣隊の隊員として出動しました。出動途上各地で地震が発生し、長野県内でも栄村で被害が出たとの情報があり、現状を把握することができないまま現地に向かいました。

活動は、「要救助者の救出」。浸水した家屋を検索し、自力で避難できない住民の救出がメインとなりました。

この災害派遣を通じていかに日頃の備え、特に心の備えが必要かということを感じました。私達の住むこの地域は、津波の心配はなくとも地震の発生危険はかなり高い地域です。この災害を教訓とし、これまで以上に災害について考え、備えの大切さを訴えていきたいと思っています。

編集後記

今回の委員会構成変更に伴い、議会報調査編集特別委員長になりましたので、よろしくお願いいたします。

4月に開局しました「ユーテレ白馬」による電波放映が可能となり、村内情報を瞬時に入手できることとなりました。

私たち委員会が発刊する「議会だより」は、行政施策や諸問題などについての検討結果を分かりやすく、正確にお伝えすることに心掛けながら、今後も村民の皆様にもご意見、思ひ出等の原稿をお願いし、情報の共有化に努めて参ります。

暗いニュースばかりが先行している昨今、白馬村に一日も早い朗報に期待をしている毎日です。 太田 修

議会報調査編集特別委員会

- | | |
|------|-------|
| 議長 | 下川 正剛 |
| 委員長 | 太田 修 |
| 副委員長 | 柏原 良章 |
| 委員 | 篠崎久美子 |
| 委員 | 太田 榮一 |
| 委員 | 田中 榮一 |
| 委員 | 小林 英雄 |
| 委員 | 松沢 貞一 |